

令和6年5月29日

事業報告

講座名	令和6年度やまぐちキッズスクール 第1回
日時・場所	5月25日（土）山口県セミナーパーク
参加者数	参加者：12組33人（子ども17人、大人16人） 学生スタッフ：12名

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、5月25日に第1回目を実施した。なお本事業には県内の大学生12名が学生スタッフとして参加し、子供の活動をサポートする。

<目的>

生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

(1)午前

AFPY(アブピー)体験 講師：山口県十種ヶ峰青少年自然の家

「他者とかかわり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法」である AFPY を、3つのグループに分かれて体験した。体育館内や屋外を行き来しながら、じゃんけんやボールなどを使ったゲーム要素の強いプログラムに取り組んだ。どのプログラムも、ペアを作ったり周りとの声を掛け合ったりしながら行われるもので、当初は緊張していた子どもたちも、あっという間に名前を呼び合い、笑い声があふれた時間となった。

(2)午後

農園教室 講師：(一社)セミナーパーク協力会

午後からは、山口県セミナーパーク内の自然ふれあいゾーンに移動して、まず、サツマイモの植え付け体験に取り組んだ。講師からはまず、サツマイモがどのように成長するのか、そのためにはどんなお世話が必要なのかの説明があった。実際に植え付ける際には、「苗を畝に寝かせてお布団のように優しく土をかけていく」という講師からの説明を口にしなが

む様子があちこちで見られた。

次に玉ねぎの収穫に取り組んだ。今年は天候の影響もあり、葉っぱが枯れているものなどもあったが、全員で力を合わせて、約 1,000 個の玉ねぎを 20 分ほどで全て収穫した。

最後にじゃがいもの収穫に取り組んだ。青々とした葉が付いた苗を引き抜くと、ゴロゴロとたくさんのじゃがいもが顔を出した。土の中に埋まっているじゃがいもを取り残さないように、子どもも大人も一生懸命に土を掘り返し、皆で分けてもまだ残るほどたくさん収穫することができた。

掘り終えた後は、畑に散らばった玉ねぎとじゃがいもの葉を集めて掃除をし、野菜を育ててくださった講師にお礼を言った。

2 写真



